

# 第 69 回全日本勤労者弓道選手権大会

## 大会出場の手引き

第 69 回全日本勤労者弓道選手権大会実行委員会

第 69 回全日本勤労者弓道選手権大会が実施要項のとおり開催される運びとなりました。  
本手引きには、日程や注意事項など重要事項が掲載されておりますので、ご熟読の上、大会への参加をお願いいたします。また、大会期間中は常に携行するようお願いいたします。

## 目次

1. 実施要項	3・4頁
2. 弓道競技規則抜粋	5頁
3. 大会スケジュール	6頁
4. 受付について	6頁
5. 公開練習／巻藁について	7頁
6. 監督会議／事前質問書について	7頁
7. 式典について	7頁
8. 競技について	7・8頁
9. 競技運行について	8・9頁
10. 記録等の連絡について	9頁
11. 注意事項	9・10頁
12. その他	10頁
13. 問合せ先について	10頁
14. 会場案内	10・11頁
15. 予選立順	12頁
16. 選手・関係者が遵守すべき自己管理事項	13・14頁

### 【各種届出書】

事前質問書	15頁
立射・取矢免除（追加）申請書	16頁
選手変更届	17頁
監督変更届	18頁

## 1. 実施要項

### 第69回全日本勤労者弓道選手権大会実施要項

1. 目的 職域弓道の普及振興、弓道技能の向上及び相互の親睦を図るとともに弓道の発展に寄与することを目的とする。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 後援 (申請予定) 明治神宮、明治神宮崇敬会、公益財団法人日本武道館、日本武道協議会
4. 主管 東京都弓道連盟
5. 期日 令和4年6月11日(土)・12日(日)
6. 会場 明治神宮武道場至誠館弓道場・第二弓道場(全日本弓道連盟中央道場)  
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1 TEL: 03-5302-5865
7. 競技種目 近的競技
8. 競技種類 団体競技(1チーム3人立)
9. 競技内容 的中制(坐射・直径36cm霰的)

日程	時刻	内容	会場
6月11日(土)	9:30~	1班 予選1回目	中央道場/至誠館
		1班 予選2回目	
	14:30~	2班 予選1回目	中央道場/至誠館
		2班 予選2回目	
6月12日(日)	9:30	決勝トーナメント 進出のための競射	
	10:30	決勝トーナメント	
	16:00	表彰式	

※ 6月11日(土)予選は、参加チームを2班に分けて、午前・午後入替制として実施する。

#### 11. 競技方法

- (1) 予選は、1団体24射(各自4射2回)にて、予選2回の累計での中数上位16チームを決勝トーナメント進出とする。ただし、同位が発生した場合は翌日決勝トーナメント進出のための競射を行う。
- (2) 決勝は、1団体12射(各自4射1回)のトーナメント法で行う。
- (3) 決勝進出決定において同中の場合は、1団体3射(各自1射)にて競射を行う。
- (4) 決勝トーナメント戦の組合せ抽選は実施しない。予選の的中数の上位からシードとし、同中の場合は、予選立順の順番とする。
- (5) 制限時間は、1立12射の場合は7分30秒以内とする。  
なお、競射は制限時間を設けない。
- (6) 予選は、中央道場・至誠館弓道場とも3射場、決勝トーナメント戦とも3人立2射場で行う。

#### 12. 監督・選手の変更及び欠員

- (1) 参加申込締切後の監督・選手の変更は、監督及び選手1名に限り認める。変更する場合は、所定の「監督・選手変更届」(別途配布)を大会前日までもしくは当日受付時に、参加申込先又は受付へ提出すること。(FAXでも可。但し、「監督・選手変更届」正本を提出のこと。)
- (2) 選手の立順変更は認めない。
- (3) 参加申込締切後、選手に欠員が生じた場合は、2名いれば出場を認める。

#### 13. 立射申請・取矢免除申請

申請は、所定の「立射・取矢免除申請書」(別途配布)を参加申込先または大会当日受付へ提出すること。※診断書等は不要

#### 14. 表彰 優勝から3位(2チーム)までを表彰する。

15. 参加資格

- (1) 同一の官公庁・会社に所属する者。但し、非常勤・嘱託を除く。
- (2) 監督・選手は、各都道府県弓道連盟から選抜又は推薦された代表チームとする。
- (3) チーム構成は、4人〔監督1人（選手兼任も可）・選手3人〕とする。
  - ①監督・選手は、公益財団法人全日本弓道連盟ID番号を保有していること。
  - ②監督・選手は、他チームとの二重登録はできない。
- (4) 参加チームの制限については、次のとおりとする。
  - ①各地連2チーム以内とし、加えて開催地1チームの増枠を認める。
  - ②前回優勝チームは、上記①に関係なく出場できる。

16. 適用規則

公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに本実施要項による。

17. 参加申込

- (1) 方法：参加チームは所定の参加申込書に必要事項を入力後、所属する地連へ提出すること。  
地連は申請者の資格等確認の上、締切日までに申込書を下記のアドレスにメール送信により申し込むこと。参加料は本連盟の指定の口座に締切日までに振り込むこと。
- (2) 注意点：参加チームは申込に際し、所属地連の締切日に十分注意すること。  
各チームから本連盟に直接申し込みをすることはできない。  
必ず地連が取り纏めて行うこと。
- (3) 申込先：E-mail：taikaikanri@kyudo.jp
- (4) 送金先：郵便振替 00140-0-112225番  
銀行振込 みずほ銀行 渋谷支店（普）250506番  
口座名義（財）全日本弓道連盟
- (5) 申込受付期間 令和4年4月11日（月）～令和4年4月22日（金）必着のこと

18. 参加料

1チームにつき、20,000円とする。申込後の棄権チームには参加料を返金しない。

19. 宿泊・昼食弁当

宿泊・昼食弁当の斡旋はない。各自で手配・用意すること。

20. 注意事項

- (1) 大会参加にあたり、地連経由で配布の「選手必携」を確認すること。
- (2) 予選のチーム立順は、締切後主催者にて抽選を行い決定する。
- (3) 練習会場は設営しない。また、練習のための競技会場は開放しない。
- (4) 競技の服装は、監督・選手とも弓道衣（白筒袖、黒袴、白足袋）とする。
- (5) チーム立順のゼッケン（配布）は、立順1番の選手が右前腰部に付ける。
- (6) 選手は、矢を6本（替矢2本を含む）用意すること。同中競射の1本目は、替矢を使用する。
- (7) 弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が修正されなければ失権とする。
- (8) 会場へは、公共の交通機関を利用すること。
- (9) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。
- (10) 参加者は健康保険証を持参のこと。
- (11) 新型コロナウイルス感染症感染予防に関して、ガイドラインに則り対策を講じる。
- (12) 大会2週間前から大会当日まで検温等の健康観察を各自実施し、平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）がある場合は出場できない。

21. 映像の取り扱いについて

個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないよう、十分に配慮すること。権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。

22. 大会申込書に記載される個人情報の利用目的について

申込書の提出により、以下の取り扱いの旨、承諾を得たものとする。

- (1) 大会プログラム並びに事務連絡文書への記載（氏名、勤務先、所属都道府県等）。
- (2) 大会結果報告への記載（氏名、勤務先、所属都道府県等）。
- (3) 公益財団法人全日本弓道連盟発行の月刊『弓道』ならびにホームページならびに本連盟公式アカウントYouTube等への掲載（氏名、勤務先、所属都道府県等）。
- (4) 報道関係、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者には関係しない。関係法令を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。

2. 公益財団法人全日本弓道連盟弓道競技規則【平成28年4月1日改定】  
 (第20条、第21条抜粋)

<p>第20条 〔弓具の規定〕</p> <p>使用する弓具は、伝統的な形状のものでかつ危険を及ぼす恐れのないものとする。</p> <p>(別紙20条 P-16伝統的な弓具図解概要参照)</p> <p>(1) 弓は、日本弓(和弓)とし、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 長さは、221cm(7尺3寸)を標準とし、若干の長短は認める。</p> <p>(イ) 握りは、本弰から約3分の1の辺りにある。</p> <p>(ウ) 矢摺籐の長さは、籐頭より6cm以上とする。</p> <p>(エ) 照準のための装置や、矢摺籐に作為的な目印がない。</p> <p>(オ) 材質は、竹・木または新素材(グラスファイバー、カーボンなど)でもよい。</p> <p>(2) 矢は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 長さは、各自の矢束に従い安全な長さとする。</p> <p>(イ) 籐の太さは、直径6mm以上とする。</p> <p>(ウ) 籐の材質は、竹または新素材(アルミ、グラスファイバー、カーボンなど)でもよい。</p> <p>(エ) 羽根は、鳥の羽根を3枚使用し甲矢、乙矢の区別がある。</p> <p>(オ) 羽丈(羽根の長さ)は、近的競技は13cm~15cm、遠的競技は9cm~15cmとする。</p> <p>(カ) 羽山(羽根の高さ)は、5mm以上とする。</p> <p>(キ) 本矧、末矧および筈巻がある。</p> <p>(ク) 筈は、埋込式で筈溝がある。</p> <p>(ケ) 筈は、筈溝以外の機能(蛍光、発光など)を有しない。</p> <p>(コ) 板付はかぶせ式とし、平題形、椎実形あるいは円錐形のいずれかである。</p> <p>(サ) 引込位置などを示す目印や類似のことがない。</p> <p>(3) 弦は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 撚って一本になっている。</p> <p>(イ) 材質は、麻または新素材などでもよい。</p> <p>(4) 碟(ゆがけ)は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 行射では、必ず右手に碟を着用する。</p> <p>(イ) 三つ碟、四つ碟あるいは諸碟のいずれかを使用する。</p> <p>(ウ) 控、帽子および弦枕がある。</p> <p>(エ) 材質は鹿革とする。</p> <p>(5) 補助具など</p> <p>伝統的な押手補助具や傷部保護のための包帯、テーピングを除き、押手にはその他の物を付けてはならない。</p>	<p>20</p> <p>* 弓具については使用目的や利用者の体格や技量などによって様々な種類があり、適切な選択が望ましく、競技の種類によっては大会要項で規定されることもある。新素材の弓具の使用は許容されるが、特に弓、籐、羽根、弦、碟の色彩については、武道の精神に鑑み、伝統的な色・柄が望ましく、けばけばしくないものとする。</p> <p>* 競技には日本弓を使い、洋弓を使用しないことを規定したものである。</p> <p>日本弓の標準的長さは221cm(並寸)で、現在は6cm~18cm伸などがあり、また逆に3cm~12cm詰などがあるので、長短を認めることとした。日本弓の特徴は長弓であるとともに、握りの位置は、中心から下で全長の約3分の1の辺にある。したがって「約」として規定した。</p> <p>籐の節は目印と見做さない。ただし作為的に籐の節目が目印となるような巻き方をしてはならない。</p> <p>* 日本弓に洋弓の特殊な形態をした羽根の矢、羽丈の短いもの、羽山の低すぎるものなど、伝統的な形態を損なっているものや鳥以外の材質のものは使用しない。「鳥獣保護に関する法律」を順守し、不法捕獲による鳥の羽根は使用を禁止する。</p> <p>* 中仕掛けに付ける伝統的な「探り(露)」は目印と見做さない。</p> <p>* 矢筈に関し、「筈巻付き被せ式筈」の使用は認める。ただし伝統的な形状でありかつ危険を及ぼす恐れがないことに十分注意すること。</p> <p>* 「諸碟・角入り三本碟」は、控があるものと見做す。中学生・高校生など初心者については「柔帽子、和帽子」の使用を認める。ただし習熟するに従いできるだけ早い機会に弦枕のある碟を使用することが望ましい。</p> <p>* 伝統的な押手補助具としては、押手碟(拇指、人差指の2本指と拇指のみの1本指)がある。</p>
<p>第21条 〔服装の規定〕</p> <p>1) 競技の服装は、弓道衣[筒袖、袴および白足袋]または和服[着物、袴および白足袋]とする。</p> <p>ただし競技によっては、大会要項で服装を規定できる。</p> <p>2) 下記の大会については男子女子ともに弓道衣[白筒袖、黒袴および白足袋]とする。</p> <p>(1) 全日本男子弓道選手権大会</p> <p>(2) 全日本女子弓道選手権大会</p> <p>(3) 全日本弓道遠的選手権大会</p> <p>(4) 全日本勤労者弓道選手権大会</p> <p>(5) 国民体育大会弓道競技会</p> <p>3) 弓道衣にマーク(氏名、チーム名、クラブ名および学校名など)を付ける場合は、筒袖および袴それぞれ1か所のみとし、その大きさは縦横10cm以内とする。</p>	<p>21</p> <p>* 服装の色合いについては、第21条2)と特に大会要項で定める場合を除き定めない。</p> <p>* 筒袖の袖の長さは、肘程度が望ましい。</p> <p>* 弓道衣下の下着は、無地とし、襟付き・ハイネックは好ましくない。</p> <p>* 初心者は、運動服着用を認めるが、前ボタン・前チャックの物は避けること。</p> <p>* 袴は、男子は腰板があるもの、女子は腰板のないものが一般的である。行燈袴は好ましくない。袴の裾は、足踏の姿勢で床面に着かないことが望ましい。</p> <p>* 国民体育大会少年種別の紺袴は大会要項により認める。</p> <p>* 弓道衣に会社の宣伝効果をねらった必要以上の大きさのマークをつけることは好ましくない。</p> <p>しかし、チーム名をつけることは逆に進行状況がわかり、ゼッケン替りになることもあり、また、選手は愛社心も出てくるので推奨したい。</p>

### 3. 大会スケジュール

#### (1) 大会日程

	予定時刻	中央道場	至誠館弓道場
6月11日 (土)	8:15	開館（中央道場玄関・観覧席） 1班受付（8:45まで）	入館は中央道場から
	9:30	1班（1～18）予選1回目	1班（19～35）予選1回目
	10:30	1班（19～35）予選2回目	1班（1～18）予選2回目
	11:30	昼食休憩	
	13:15	2班受付（13:45まで）	入館は中央道場から
	14:30	2班（36～55）予選1回目	2班（56～70）予選1回目
	15:30	2班（56～70）予選2回目	2班（36～55）予選2回目
	16:30	終了	
6月12日 (日)	8:15	開館（中央道場玄関・観覧席）	/
	9:30	決勝トーナメント進出のための 同中競射	
	10:30	団体決勝トーナメント1回戦	
	12:00	昼食休憩	
	12:50	団体決勝トーナメント2回戦	
	13:30	団体決勝トーナメント準決勝	
	14:00	団体決勝トーナメント決勝	
	15:00	表彰式 ※要項より早めております	

※上記時間帯は進行状況により開始時刻が前後するので注意してください。

※第3控までに選手及び監督が確認できない場合は失権となります。

※招集の開始時間は原則として各競技の開始ならびに再開の15分前とします。

※期間中は至誠館弓道場玄関からの出入りはできません。中央道場玄関から出入りしてください。

※12日（日）の決勝トーナメント進出のための同中競射は予選において上位16チームが確定しない場合のみ実施いたします。

発生しない場合や競射が長引いた場合は決勝トーナメント開始時間に変更となる場合がありますので、9頁10. 記録等の連絡についてでご案内するLINEオープンチャットにて連絡します。

#### (2) 予選の班編成（予選立順）について

5月16日、全弓連事務局にてエクセル（Excel）の「ランダム関数」による立順抽選を行い、別掲のとおり決定した。各チーム立順を確認の上、該当の時間帯で受付を行い、予選に参加すること。

### 4. 受付について

(1) 以下の該当の時間帯で必ず受付を行うこと。大会プログラム等を配付する。

6月11日（土） 1班 8:15～8:45 中央道場1階  
2班 13:15～13:45 //

(2) 前回開催大会の優勝チームは優勝カップを受付時に必ず持参すること。

## 5. 公開練習／巻藁について

### <公開練習>

今大会は行わない。

### <巻藁会場>

期間中、中央道場2階巻藁室を開放する。

## 6. 監督会議／事前質問書について

日程の都合により監督会議は行わない。

質問がある場合は、巻末（P15）事前質問書にて6月7日（火）までに提出のこと。

質問の回答は受付時に参加全団体へ質問事項回答書として配布するので参照のこと。

## 7. 式典について

### (1) 開会式

開会式は今大会は実施しない。

### (2) 表彰式

6月12日（日）競技終了後、中央道場射場にて行う。

入賞選手及び監督は競技終了後速やかに射場控に集合し競技役員の指示に従うこと。

選手は弓道衣（白筒袖・袴・白足袋）を着用し参加すること。

次 第
1. 開式通告
2. 成績発表
3. 表彰
4. 大会会長あいさつ
5. 国旗・連盟旗儀礼
6. 閉式通告

## 8. 競技について

### (1) 競技

#### ①射場区分

予選は3射場、決勝トーナメントは2射場に分割して使用する。

#### ②制限時間

予選・決勝ともに1立7分30秒以内とする。

ア) 制限時間の計時は、進行委員の「始め」の合図により開始する。

イ) 制限時間30秒前に予鈴（1音）、制限時間超過時に本鈴（2音）で合図する。

ウ) 本鈴と同時に射離した矢は無効とする。

エ) 制限時間超過後に射離した矢は無効、残った矢は失権とする。

オ) 射場審判委員から行射停止指示が出た場合は、制限時間の規定を適用しない。

カ) 自団体内に起因する事故（弦切れ処理等）の場合は、制限時間内で行う。

キ) 同中競射については制限時間を設けないが、行射の前後動作が殊更に間延びしないこと。

## (2) 行射について

- ①一手を持って行射するときは、取矢を行うこと。
- ②次の矢は無効となり、「はずれ」として処理する。矢番え完了（矢番えた後、右手を腰にとった時点）後に、筈が弦から外れた場合、打起し開始後に、射直した場合。
- ③筈の破損による矢の交換は、矢番え完了前までは認める。矢を交換する際には選手が挙手で進行委員に申し出ること。
- ④矢が幕に刺さったり横になったりした場合、他の射場に影響を及ぼさない限り競技を中断し矢取りを行わない。
- ⑤選手は四つ矢のほか替矢2本を準備すること。団体競技の決勝トーナメントにおける同中競射の1本目は替矢を使用する。
- ⑥弦切れの場合は、進行委員が替弦を張る。
- ⑦前の選手より先に射離した場合は、射場審判委員が無効を宣言し、「はずれ」として処理する。

## (3) ゼッケン（チームワッペン等）について

着用する場合は国民体育大会に準ずることとする。

参考：本連盟 HP [https://www.kyudo.jp/pdf/documents/about\\_wear.pdf](https://www.kyudo.jp/pdf/documents/about_wear.pdf)

## (4) 弓具点検について

- ①大会当日、第3控にて弓具点検を実施するので、事前に点検し、必要に応じ修理を行っておくこと。違反した場合は、失権と判定する。ただし修正されればこの限りではない。
- ②弓道競技規則第20条〔弓具の規定〕、第21条〔服装の規定〕については、前掲にて確認すること。

## (5) 立射・取矢免除申請

事情により立射ならびに取矢の免除を希望する場合は、所定の用紙に必要事項を記入の上、受付時に提出すること。大会期間中に発生した場合は受付まで申し出ること。

## (6) 出場選手及び監督の変更について

参加申込締切後の監督・選手の変更は、監督及び選手1名に限り認める。

- ① 本手引きに掲載の所定の用紙に必要事項を記入の上、受付に提出すること。
- ② 選手・監督の変更は、各班受付時の終了時間までとする。

## (7) 監督の代行について

監督の兼任等で監督が入場できない場合は進行委員が替弦・替矢を携えて入場する。

## 9. 競技運行について

### (1) 予選

- ・選手は進行委員の指示に従い射場に入場する。（原則として前の立、落の3本目の弦音）入場後は本座で跪坐をして待ち、進行委員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。行射後は順次退場すること。
- ・決勝トーナメント進出のための同中競射においても上記と同様に行う。

## (2) 決勝トーナメント

- ・選手は進行委員の指示に従い射場に入場する。

(原則として前立の勝敗の宣言が終わり退場するあたり)

入場後は本座で跪坐をして待ち進行委員の「始め」の合図で揖をして射位に進む。

行射後は本座に戻り跪坐、進行委員の勝敗宣言の後、「起立、退場」の合図に従い退場すること。

## (3) 監督の入場要領について

- ・監督は自チームの3番に続き入場し、選手の跪坐と同時に着座すること。

## 10. 記録等の連絡について

今大会は大会期間中 LINE オープンチャットを利用して参加チームへ下記連絡を行います。

各チーム1名以上が必ず登録し、閲覧できる状況を確認してください。

- ① 予選記録 (原則として各班予選2回目終了後)
- ② 決勝トーナメント進出のための同中競射対象チーム (2班終了後)



登録名は **チーム名略称(都道府県名)** でお願います。複数人登録の場合は都道府県名の後ろに①②…と登録してください。なお、大会実行委員会では各チームの登録状況は把握しませんので予めご了承ください。

オープンチャットでは、お持ちの LINE のメインアカウントとは切り離して参加できます。個人アカウントを、特定されることはありません。

なお、LINE オープンチャットでは、原則として上記2件の連絡のみ取り扱います。大量の通知を避けるため、参加時の「●●チームの●●です。」といった自己紹介や挨拶、大会中の応援などは行わないでください。

## 11. 注意事項

- (1) 射場内にはぎり粉、筆粉の持ち込みを禁止する。
- (2) **館内(中央道場及び至誠館)には関係者(選手・監督・役員等)以外の者の立ち入りを禁止する。**特に、選手監督控室のある中央道場2階への出入りの際は、セキュリティ確保の為、階段付近で受付時に配布する「選手ID」「監督ID」の確認を行う。  
また、前述のとおり、関係者以外の出入りを禁止する為、移動の際(私服時含む)も必ず「選手ID」「監督ID」を着用すること。  
それ以外の者は入館できないので、応援者等の来訪者があった場合は、選手又は監督が「選手ID」「監督ID」が不要な場所まで移動をすること。
- (3) 控室及び観覧席での場所取りは禁止する。特に観覧席は譲り合って使用すること。明治神宮内の芝地等にテントやパラソル等スペースを必要とする設置物の使用は禁止する。これらは応援者へも周知徹底を図ること。

- (4) 弓具及び貴重品等は各自で管理すること。会場内での物品の紛失については、一切責任をもたない。届けられた落し物については大会本部で保管する。また、ゴミは各団体でまとめ必ず持ち帰ること。
- (5) 観覧席は中央道場・至誠館共に開放するが、着席人数の制限等を行う場合がある。また、マスク着用をお願いするとともに、射場及び観覧席からの発声による応援は一切禁止する。但し、的中時の拍手のみ認める。
- (6) 会場内は裸足厳禁。必ず白足袋または靴下を着用すること。ストッキングは裸足とみなす。

## 1 2. その他

- (1) 1 6. 関係者が遵守すべき自己管理事項を確認して各自遵守すること。
- (2) 監督、応援者等の喫煙は所定の場所にて行うこと。
- (3) 期間中、月刊「弓道」取材が競技の撮影を行う。
- (4) 期間中、会場に弓具修理（弓具店）の来場はありません。

## 1 3. 問合せ先について

事前のお問合せは、可能な限りメールにてお願いいたします。

第 6 9 回全日本勤労者選手権大会実行委員会 [taikaikanri@kyudo.jp](mailto:taikaikanri@kyudo.jp)

## 1 4. 会場案内

全日本弓道連盟中央道場

〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町 1-1

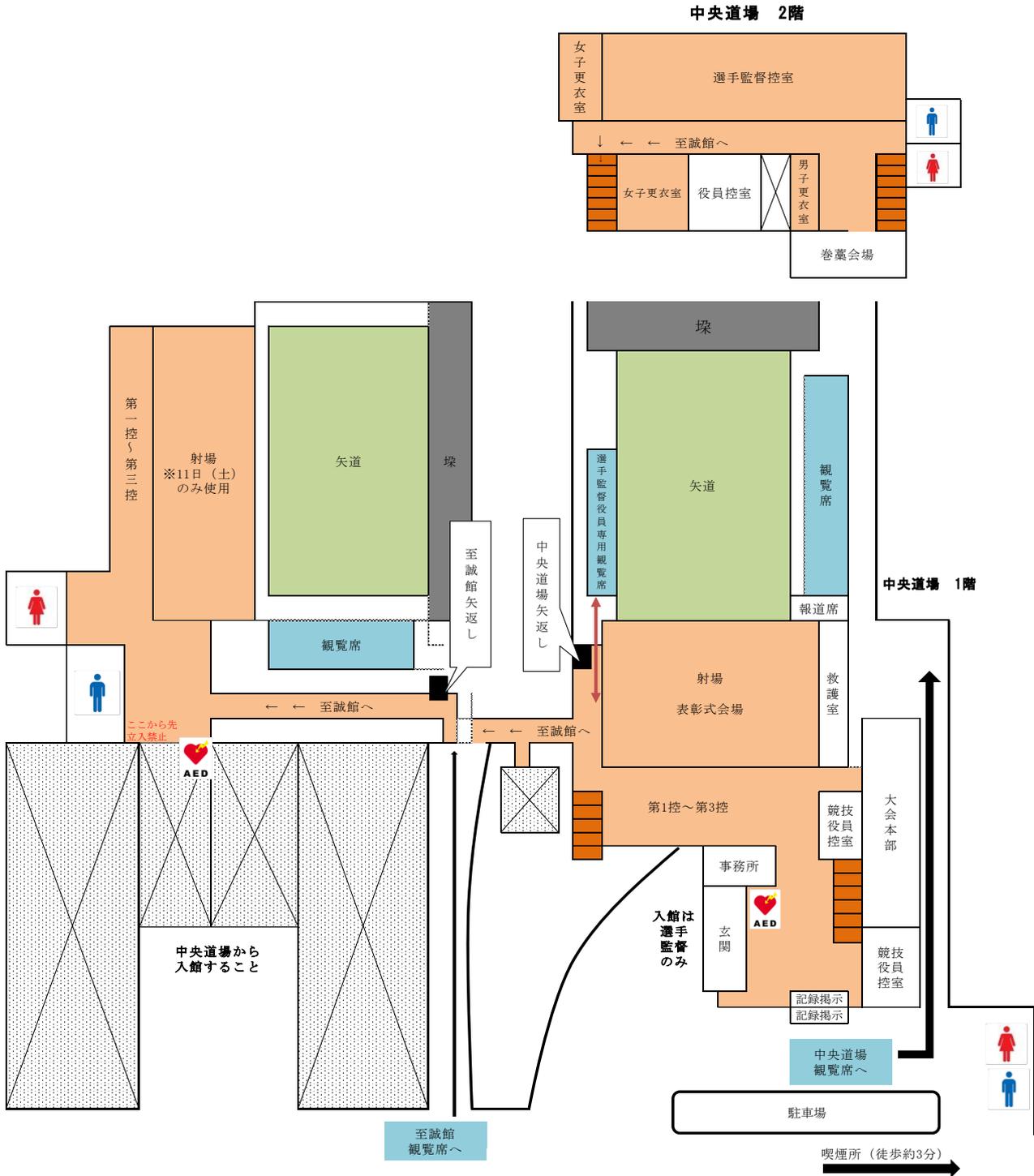
TEL : 03-5302-5865

J R 線・都営地下鉄「代々木駅」より徒歩約 1 5 分。小田急線「参宮橋駅」より徒歩約 1 0 分。



会場図 次ページ

会場図



※予選を終了したチームは速やかに退館すること  
 ※上記会場図は更衣室等を変更する場合がある。当日の掲示に従い使用すること。

## 15. 予選立順

### 第69回全日本勤労者弓道選手権大会 予選立順一覧

< 1 班 > 予選開始 9 : 3 0 ~

立順	都道府県	出場チーム名
1	香川	四国電力・香川
2	三重	ホンダ鈴鹿
3	福井	関西電力・若狭
4	岩手	東北電力・岩手
5	石川	金沢村田製作所
6	愛知	豊田自動織機
7	沖縄	航空自衛隊沖縄
8	栃木	マレリ
9	福島	I H I 相馬
10	千葉	千葉県教職員
11	新潟	新潟県教職員
12	静岡	日本プラスト
13	三重	安永
14	広島	福山市役所
15	高知	四国銀行
16	香川	香川県教職員
17	東京	N T T 東京 B
18	埼玉	ホンダ埼玉 B
19	静岡	ヤマハ発動機
20	兵庫	グローリー
21	福岡	サンパック
22	千葉	タイヘイ
23	佐賀	佐賀県庁
24	群馬	S U B A R U
25	岐阜	岐阜県教職員
26	滋賀	日電硝子
27	東京	東芝
28	京都	ユニチカ
29	富山	北陸電力
30	石川	津田駒工業
31	愛知	トヨタ自動車
32	広島	J E F 西日本福山
33	大阪	N T T 大阪
34	徳島	徳島県教職員
35	茨城	三菱ケミカル茨城

< 2 班 > 予選開始 1 4 : 3 0 ~

立順	都道府県	出場チーム名
36	鹿児島	九州電力・鹿児島
37	岡山	クラレ
38	徳島	四国大学
39	熊本	昭和商事
40	神奈川	神奈川県教職員
41	長野	セイコーエプソン
42	岡山	三井 E & S
43	岩手	岩手県教職員
44	滋賀	綾羽
45	山口	周南記念病院
46	茨城	日立製作所・茨城
47	奈良	シャープ
48	山梨	小林商事
49	埼玉	所沢市役所
50	熊本	Y K K A P 九州
51	兵庫	日本製鉄瀬戸内
52	長崎	長崎県教職員
53	大阪	パナソニック H D
54	和歌山	花王和歌山
55	京都	陸自・関西補給処
56	埼玉	ホンダ埼玉 A
57	東京	N T T 東京 A
58	栃木	安土矢
59	福井	福井村田
60	奈良	奈良県教職員
61	長野	長野県庁
62	高知	高知銀行
63	山梨	石原工業
64	長崎	長崎市役所
65	群馬	日本カーリット
66	佐賀	佐賀市役所
67	愛媛	D C M
68	福岡	北九州市役所
69	愛媛	四国電力・愛媛
70	鹿児島	始良市役所

## 16. 選手・関係者が遵守すべき自己管理事項

### 自己の体調管理を行うこと

- 自主的に、健康状態を観察（検温、症状観察）すること。
- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
  - 体調が良くない場合（発熱、せき、咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
  - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会参加時は、マスク、体温計（宿泊者のみ）を持参すること。
- 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルスに発症した場合や、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA や各地域で取り組まれている通知サービス）によって、実施中に濃厚接触があったと思われる場合は、自宅住所を管轄する保健所に連絡して指示を仰ぐこと。  
また、当連盟に対して速やかに報告すること。その際、他の選手等へ当該情報を提供する場合があることを了承しておくこと。  
連絡先：全日本弓道連盟 03-6447-2980

### 感染防止について自身の行動管理を行うこと

- 以下の対策を行うこと。
  - 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA や各地域で取り組まれている通知サービスを活用すること。
  - 健康観察を行うこと。
  - 可能な範囲で他者との接近を少なくすること。
  - 公共交通機関でのコロナ対策を遵守すること。
- 感染リスクが高まる「三密（密閉空間・密集場所・密接場面）」を避け、「5 つの場面」に注意すること。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。  
特にマスク着脱時は目鼻口に触れないこと。
- 感染防止のために主催者、施設管理者が決めた措置の遵守、施設管理者の指示に従うこと。

### 会場内における自身の行動管理を行うこと

- 大会前日、及び大会当日は、以下の対策を行うこと。
  - 大会前日、及び大会期間中の飲食は、感染症対策が実施されている飲食店を選び、少人数・短時間で行うことが望ましい。
  - 大会当日は更衣室の密防止のため、可能な限り、弓道衣に着替えを済ませての来館が望ましい。
  - 会場内で体調がすぐれない症状（発熱や呼吸困難、けん怠感等）が表れた場合には、速やかに 1 階「選手受付」に申し出ること。
  - 会場には、時間前に入場することはできない。
  - 入場時は、手指の消毒、検温（非接触型顔認識）を行い、発熱がないことを確認すること。  
37.5 度以上あった場合は入場できない。入場後の退場は認めるが、その後、再入場する際も、手指の消毒、検温を行うこと。
  - 原則として、行射時以外は常にマスクを着用すること（更衣室・選手控室・射場控等）。
  - 人との距離をとって行動すること。選手間での会話は特に注意し必要な会話に留めること。

□射場控等での注意点について

- 射場控にて外したマスクは、主催者側で準備するマスクケースに入れ、射場控のイス等に直接置かないこと。選手控室の机にも同様に外したマスクを直接置かないこと。
- タオル等を使用する場合も直接、床に置かずに持参した袋等を使用すること。

□観覧席の利用について

- 観覧席は開放するが、一部の席の利用を制限する。

□洗面所について

- 手洗いは、しっかりと行うこと。
- 利用者が密にならないように、配慮すること。

□飲食について

- 飲食前に手洗い、手指消毒を行うこと。
- 飲食直前までマスクを着用すること。
- 飲食物は、必要に応じて各自準備すること。
- 感染予防のため、人との距離を保ち、単独で黙食を徹底すること。飲食中に会話をする必要がある場合にはマスクを再度着用すること。

□ゴミの廃棄について

- 会場にゴミ箱の設置はない。持参した飲食物等のゴミは各自持ち帰ること。また、使用済みのマスクや鼻水や唾液等が付いたゴミはビニール袋に入れて密閉して持ち帰ること。

第 69 回全日本勤労者弓道選手権大会実行委員会 宛 / **FAX: 03-6447-2981**  
提出期限: 令和 4 年 6 月 7 日 (火) 必着のこと

第 69 回全日本勤労者弓道選手権大会

## 事前質問書

1. 質問がある場合は、質問事項を記入して期日までに FAX にて全日本弓道連盟まで送付ください。
2. 質問の回答は受付時に参加全団体へ質問事項回答書として配布するので参照のこと。

都道府県名	
チーム名	
監督名	
連絡先	携帯電話番号 (自宅電話番号)

1. 質問事項

令和4年 月 日

## 立射申請書・取矢免除（追加）申請書

競技委員長 殿

( ) 下記選手の立射を申請します。

( ) 下記選手の取矢免除を申請します。

都道府県 \_\_\_\_\_

チーム名 \_\_\_\_\_

監督名 \_\_\_\_\_

参加申込時立順	選手名	申請理由
番	ふりがな	

担当	全日本 弓道連盟	総務委員長	競技委員長
確認者印 又は 署名			

## 選手変更届

競技委員長 殿

下記のとおり選手変更をします。

予選立順 \_\_\_\_\_

都道府県 \_\_\_\_\_

チーム名 \_\_\_\_\_

監督名 \_\_\_\_\_

提出先：中央道場内受付

1班 6月11日（土） 8：45まで

2班 6月11日（土） 13：45まで

選手の立順	旧選手名（変更前）	新選手名（変更後）
番	選手名	選手名

受付日時 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

受付者 \_\_\_\_\_

## 監督変更届

競技委員長 殿

下記のとおり監督を変更します。

予選立順 \_\_\_\_\_

都道府県 \_\_\_\_\_

チーム名 \_\_\_\_\_

監督名 \_\_\_\_\_

提出先：中央道場内受付

1班 6月11日（土） 8：45まで

2班 6月11日（土） 13：45まで

旧監督名（変更前）	新監督名（変更後）
ふりがな	ふりがな

受付日時 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

受付者 \_\_\_\_\_